



2024年9月12日
JFE 建材株式会社

QL ルーフ 板厚 1.0mm 仕様拡大

JFE 建材株式会社は、『人と地球に優しい建築物を目指して』乾式外断熱屋根下地 QL ルーフ の新仕様「最薄最軽量板厚 1.0mm」を 2024 年 5 月から販売開始していますが、この度、更なる仕様拡大を実現しました。軽量で施工性がよく、工期短縮とコスト低減に寄与できる、環境に配慮した QL ルーフが更に使いやすくなりました。

【QL ルーフ 板厚 1.0mm】*QL99-75-10Y

合成スラブ構造用デッキプレートを乾式外断熱屋根用下地材に用いた QL ルーフは、デッキプレート単体で屋根 30 分耐火認定を取得しています。この度、本年 5 月にリリースした新仕様 QL99-75-10Y(板厚 1.0mm)について、更なる仕様拡大を実現しました。これにより、断熱性能や意匠性に優れ、主に低層建築で多くご採用いただいている QL ルーフがよりいっそう使いやすくなりました。

特長 (1) QL ルーフの適用範囲を拡大

最薄最軽量 板厚 1.0mm の QL ルーフが、連続支持で最大スパン 3.8m での使用が可能になりました。既認定の単純支持最大スパン 3.4m から、0.4m の拡大を実現しました。

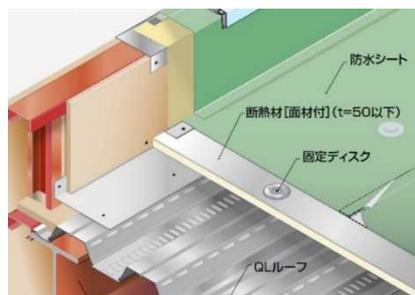
特長 (2) 重量および CO₂ 排出量の削減

板厚 1.2mm に比べて、平米あたりの製品質量が 83%に低減します。また、粗鋼製造時に排出される CO₂ を 1.83kg-CO₂/kg とした場合、現行板厚と比べると約 4.21kg-CO₂/m² の CO₂ 削減効果があり環境負荷低減にも寄与します*¹。

*1 例: QL99-75-12Y 14.1kg/m²、QL99-75-10Y 11.8kg/m²

QL ルーフは 2004 年に販売を開始し 20 年が経過しました。当製品はこれまで、省エネ、軽量化など時代の要請に応じたブラッシュアップを重ね、2008 年には耐火認定仕様の拡大を行い、2013 年には更なる省エネ寄与を実現する高断熱仕様「FPIS 屋根」をリリース、また、カーボンニュートラルを意識した「太陽光発電パネル架台基礎」など周辺アクセサリの拡充にも力を入れつつ、今回更なる環境配慮型の商品開発が実現されました。

JFE 建材は今後も、環境負荷軽減、生産性向上などの社会的課題に向き合い、施主・設計者・建設現場などユーザー、および、防水材メーカーなど協業会社、の声に広く耳を傾け、社会的要請・市場ニーズに応えるべく、更に一步踏み込んだ研究・開発に努めてまいります。



* QL ルーフとは：乾式外断熱工法の屋根下地材で、屋根 30 分耐火認定を取得。

* 乾式外断熱屋根工法とは：屋根下地と断熱材、防水材を組み合わせた工法で、コンクリートが不要なため、軽量で工期短縮コスト削減が可能。

【乾式外断熱屋根工法 構成図】

〔本件に関するお問い合わせ〕

JFE 建材株式会社 建築建材商品営業部 TEL:03-5715-7520